

園芸新規導入に対する支援のご紹介

JAグループ新潟では新規に園芸導入をされる皆様に支援します！

～こんな皆様に 初期費用の軽減に是非ご利用ください～

- 野菜・果樹・花きの導入に興味のある方
- 農業経営の拡大を目指し園芸導入をお考えの方
- 基盤整備地区で新規に園芸を導入する計画の方 etc.

利用希望の場合、
JAにご相談を！

JAグループではこんな支援メニューをご提案します！

- 初期費用の軽減（肥料・種苗費等）⇒ JA全農にいがた 担い手支援策
- 初期費用の軽減（機械・設備費等）⇒ JAグループ新潟 にいがた農業応援ファンド
- 水田の排水対策に ⇒ JA全農にいがた 農業機械貸出し

具体的なメニューはコチラ！

JA全農にいがた 担い手支援策「園芸新規導入・定着支援」

助成総枠	1,690万円		
助成対象	新規導入支援	○新規の園芸品目を基準面積以上導入 ○既存栽培品目であるが、新規に「品種」「作型」「栽培技術」を基準面積以上導入(品目全体の面積が前年以上となる)	
	定着支援	R1以降に新規導入品目を基準面積以上継続し作付したもの	
助成要件	対象品目	① 全農重点品目(えだまめ・たまねぎ・すいか・ねぎ・ブロッコリー・アンジェレ) ② 産地育成品目(地域で1億円産地創出に向け定めた品目) ③ JA推進品目	
	基準面積	5a以上(施設、果樹等は1a以上)	
対象経費	生産費	種苗、肥料農薬、諸材料、光熱動力費、土地賃借料、借地にかかる土地改良水利費、機械賃借料(全農貸出機除く)等	
	施設改修	換気設備、構造改修の費用等	
助成金額	助成額	対象経費の1/4以内(千円未満切捨て)	
	助成上限 (1経営体当たり)	えだまめ・たまねぎ他上記全農重点品目	30万円(税別)
		上記以外	10万円(税別)
全農への 申請期限	計画申請	6月末 ※たまねぎ・秋ブロッコリーは9月末	
	助成申請 (支出時期)	販売終了後1か月以内に生産費・販売額が確認できる書類等を整備し、JAから全農へ提出 ⇒ 審査後に助成金を支出	

※ 掲載内容の無断使用・転載を禁じます。

JAグループ新潟 にいがた農業応援ファンド「1億円園芸産地チャレンジ事業」

「新潟県園芸振興基本戦略」で推進する販売額1億円到達増を目指す園芸産地において園芸生産の規模拡大や園芸生産への新規取組み等を実践する際に要する費用の一部(助成率30%・上限50万円)を助成します。

助成総枠	3,000万円(上期:2,000万円、下期:1,000万円)
事業対象者	新潟県内の農業者(法人含む)・農業者によって構成される組織
助成対象事業	「産地育成計画」にて定める園芸品目の生産規模拡大や生産への新規取組み等
助成対象費用	上記助成対象事業の実践に要する費用(税別) ※原則、設備導入等にかかる費用・事業実施期間内に要する費用 ※補助金等の交付または交付予定事業にかかる費用は対象外
助成金額	対象費用(税別)の30%(上限50万円) ※年間通じ1事業対象者1回。各期において申請額合計が予算枠超過の場合は抽選
募集期間	上期:4月1日~4月30日 下期:10月1日~10月29日
事業実施期間	上期:4月1日~9月30日 下期:10月1日~翌3月31日
交付予定時期	上期:令和3年8月末、下期:令和4年3月末までに交付
その他	助成対象者は助成金交付から3年間、取組状況の報告を要する。

JAグループ新潟 にいがた農業応援ファンド「園芸生産拡大支援事業(担い手向け支援)」

園芸生産の規模拡大や園芸生産への新規取組み等を実践する際に要する費用の一部(助成率30%・上限30万円)を助成します。

助成総枠	2,000万円(上期:1,000万円、下期:1,000万円)
事業対象者	新潟県内の農業者(法人含む)・農業者によって構成される組織
助成対象事業	園芸生産の規模拡大や園芸生産への新規取組み等
助成対象費用	上記助成対象事業の実践に要する費用(税別) ※原則、設備導入等にかかる費用・事業実施期間内に要する費用 ※補助金等の交付または交付予定事業にかかる費用は対象外
助成金額	対象費用(税別)の30%(上限30万円) ※年間通じ1事業対象者1回。各期において申請額合計が予算枠超過の場合は抽選
募集期間	上期:令和3年4月1日~4月30日 下期:令和3年10月1日~10月29日
事業実施期間	上期:令和3年4月1日~9月30日 下期:令和3年10月1日~令和4年3月31日
交付予定時期	上期:令和3年8月末、下期:令和4年3月末までに交付
その他	助成対象者は助成金交付から3年間、取組状況の報告を要する。

にいがた農業応援ファンドについて詳しくはお近くのJAまたはJAグループ新潟担い手サポートセンターまでお問い合わせください。(TEL:025-230-2026)

※ 掲載内容の無断使用・転載を禁じます。

J A全農にいがた 園芸振興にかかる農業機械貸出し「圃場排水性改善・輪作導入支援」

水田での野菜栽培には圃場の排水対策が必須です。

排水対策が不十分であると収量不足・品質不良から十分な所得につながりません。

圃場の排水性改善対策としてJ A全農にいがた貸出し農業機械を利用しましょう！

機種	形式・銘柄	特徴・効果
溝堀機	D25BB (スガノ)	畦畔の際やほ場の中に溝を掘ることにより、地表面の余剰水や土中の横浸透水を集積して排水することができます。
アップカッターロータリー 畝立整形機(マルチャー付)	APU1710H-4S (松山) DV-15N-RM	専用ロータリーが表層細かく下層は粗い2層構造の土壌を形成。通気孔を確保し透水性を向上させ地表滞水を防ぎます。 台形畝の整形及びマルチ張り (佐野アタッチ)
籾殻補助暗渠施工 (モミサブロー)	SPF31KP (スガノ)	本暗渠までの水みちがない場合、ナイフで形成した溝にモミ殻を充填する補助暗渠を通すことで排水が行えます。

※本事業の対象者は新規導入者だけに限りません。



溝堀機



モミサブロー

(園芸部園芸振興課)